

後援会連絡所	〒323-0807 小山市城東3-14-5 0285-20-5000	発行責任者	津布久 正夫
ホームページ	http://homepage3.nifty.com/yamanoi-takashi/	編集者	江原 広
メールアドレス	yamanoi.takashi@tvoyama.ne.jp	発行日	2012年10月5日

皆様より頂戴しております日頃からのご支援に対し、心より感謝申し上げます。

安全で安心な小山市を目指して取組んでまいりますので、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

平成24年度第3回定例会が、9月3日から26日の日程で開催され、全議案が原案通り可決されました。



【トピックス】

<小山市長選は大久保寿夫氏が四選>

任期満了に伴い、7月22日に施行された小山市長選挙は四選を目指す大久保寿夫氏が38,564票を獲得し、元県議の高橋修司氏に21,694票の大差をつけ当選しました。

4年前の選挙で17,040票を獲得した小野塚久江氏は9,840票と前回を下回る結果となりました。

大久保市長は9月議会初日の所信表明で、『小山を変える』から『新しい小山を創る』に政治理念を変えて『夢』『未来』あふれる小山市を創って、改革の仕上げをしております。

『人・行政を創る』『まちを創る』『くらしを創る』の中で、様々な事業を実施しようとしていますが、その中には、大型の公共事業なども多く含まれており、事業費として市債が増えることが危惧されます。

市債を計画的に減少させていくことは大久保市長の公約の一つでもありますので、議会としても無駄遣いの無いようにしっかりと監視していきます。

<市議会議員補欠選挙は大木元氏、安藤良子氏が当選>

小山市長選にあわせて施行された小山市議会議員補欠選挙は、2議席に対して4名が立候補し、大木元氏が20,799票、安藤良子氏が19,369票を獲得し、当選しました。

大木元氏は初当選、安藤良子氏は3期目の当選となります。

会派構成は、大木元氏が『みんなのクラブ』に入り3名に、安藤良子氏は無党派となりました。

<議会報告会を開催>

昨年12月議会で制定し、本年4月1日に施行となった議会基本条例に基づき、10月1日～4日の日程で、初めての議会報告会を開催しました。

市内を小山地区・間々田地区・大谷地区・豊田地区・桑地区・絹地区の6地区に分け、議長を除く29名の議員を3班に分けて、それぞれの班が2地区を担当する形で実施しました。

私は、2班に入り、小山地区と桑地区の報告会に参加し、2日には『これまでの議会改革について』を報告し、4日には司会進行を担当しました。参加した市民の皆さんからは多くのご意見をいただきました。参加していただきました多くの市民の皆様へ感謝申し上げます。

【市政相談】

雨ヶ谷地区において、見通しの悪い交差点にカーブミラーの設置要望があり、市民生活部生活安心課に依頼して、ミラーを設置していただきました。

元々、右方確認のミラーはありましたが、左方を確認するミラーがなかったので、追加設置してもらいました。

先日、この場所を車で通ってみました。見通しが良くなり、危険を回避できたと感じました。

早急な対応に感謝いたします。



【9月議会の議案から】

＜平成24年度小山市一般会計補正予算について＞

2億円余りが増額される補正予算が上程され、可決されました。

事業内容について主なものは、『小山総合公園』内にある陸上競技場のトラック内に整備されているサッカー場の改修を行うものです。歳入はサッカーくじ『toto』からの補助金が出るようになったことに加え、不足する分には市債（都市計画債）をあてて事業を実施します。

サッカー場については、私にも多くの市民から整備要望が来ております。財政の問題がありますので、簡単に多くのサッカー場を整備することはできませんが、国や県の補助金などを利用しながら、少しずつでも整備できるように要望してまいります。

＜損害賠償額の決定について＞

小山市市民病院において、医療事故が発生しました。

これまで話し合いが行われてきましたが、このたび和解が成立し、損害賠償を支払うことになりました。

医療事故は、病院として決して起こしてはいけないものであり、病院の信頼を失うことにつながってまいります。今後、このような事故は起こらないように、島田病院長を先頭にこれまで以上に気を引き締めて診療にあたっていただくことをお願いします。

＜財産の取得について＞

現在建設中の小山市消防本部庁舎に整備される『高機能消防指令センター』の購入について、購入先、および購入金額等が決定しました。

- ・ 購入方法 : 指名競争入札
- ・ 購入先 : 日本電気(株)宇都宮支店
- ・ 購入金額 : 2億2,680万円



建設中の新消防庁舎

＜地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会条例の制定について＞

小山市市民病院が平成25年4月から地方独立行政法人に移行することに伴い、地方独立行政法人評価委員会を設置することになりました。

累積欠損金が10億円を超えるなど、経営状況が悪化している小山市市民病院は経営改善を目指して平成25年度から地方独立行政法人化することにしており、これまでの地方公営企業とは違い、議会の監視が届きにくくなり、また議会での議決も必要なくなることから、経営状況の監視を行う機関としても、評価委員会は大きな役割を担っています。

委員は6名で構成され、医師派遣元又は病院経営の見地から1名、医師会及び地域医療の見地から1名、経営学の見地から1名、看護教育又は看護体制の見地から1名、病院経営又は独立法人会計基準の熟知者から1名、病院受診者側から市民の代表1名の6名を考えているとのことであり、

＜平成23年度小山市一般会計、各特別会計、企業会計の決算の認定について＞

平成23年度小山市一般会計の歳入は583億4940万円余で前年度比29億4568万円増、歳出は562億7,249万円余で同24億1,122万円増となりました。

歳入歳出差引額から翌年度に繰り越す財源を引いた、16億7843万円が実質収支額となります。

国民健康保険特別会計などの8特別会計の決算額の合計は、歳入が307億2146万円で歳出が301億177万円となり、差引額は6億1,968万円となり、昨年より5億2,127万円の減少となりました。

水道事業会計は営業収支では、8億510万円で前年度比8.1%増となり、営業外収支や特別損失を引いた事業収支では、6億400万円の利益となりました。

病院事業会計は、眼科、産科、脳神経外科の休診状態が継続したことなどから、医業収支が6億7048万円の医業損失を計上し、昨年比で、2億8178万円増となってしまいました。

＜教育委員会委員に酒井一行氏を再任＞

教育委員会の委員である酒井一行氏が任期満了となったことから、同氏を再任するための議案が上程されました。酒井氏は美田中、小山二中、小山三中などの校長を歴任し、平成23年4月から教育長として活躍しています。小山市の小中学校では、今年（平成24年度）に耐震工事が完了しますが、大規模校と小規模校の学校間格差、いじめ問題など課題は山積しています。

酒井教育長には情熱をもって教育問題の解決に全力で取り組んでいただくことを期待しています。